



さくらねこ前線北上計画

官民協働で、
飼い主不明猫の不妊手術(TNR)を推進し
行政による猫の殺処分ゼロを実現します。

公益財団法人どうぶつ基金

TNRとは、



野良猫(飼い主不明ねこ)を

1. 捕獲(Trap)して
2. 不妊手術(Neuter)を施し
3. 元の場所に戻す(Return)ことです。

TNRはWHOも推奨する野良猫減少の方法です。

TNRの徹底により、日本各地(東京都千代田区、神奈川県座間市など)で「行政による猫の殺処分ゼロ」が実現しています。

使命

本計画の使命は**TNRの実践と啓発**によって、
行政による**猫の殺処分ゼロ**を達成することです。



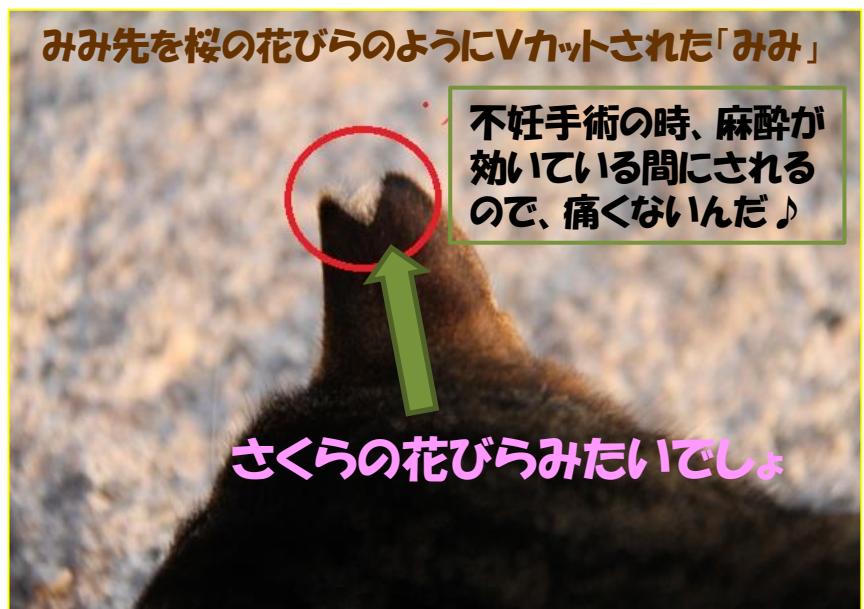
さくらねこはさくら耳



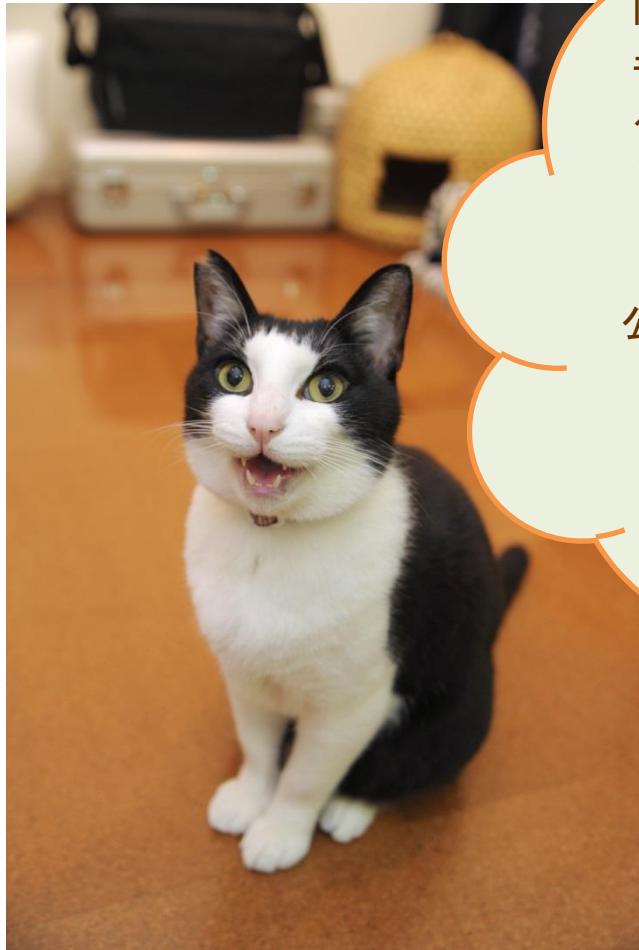
しあわせ・♥さくらねこ

「さくらねこ」？

「さくら耳」？



ア/「はっちゃん」も、さくらねこ



「はっちゃん日記」で有名になったボクも、昔は公園で暮らしていた時代があるんだ。ある日、写真家の八二一さんたちと出会って、お家につれてかえつてもらえることに！本当にラッキー！

公園ねこ時代、親切なボランティアさんから食事と不妊手術を受けさせてもらったんだよ。

だから、ぼくも「さくらみみ」で、
「さくらねこ」

「さくらねこ」というのは耳先を桜の花びらの形にカットした猫のことです。



➤ さくらねこのさくら耳は愛され猫のしるし

「さくら耳」は不妊手術済のしるしです。日本のいろんな地域で、猫たちがふえすぎて迷惑をかけないように、ボランティアさんが獣医さんに運んで不妊手術をしています。この手術の時、麻酔中の痛くない間にお医者さんがメスで耳先を桜の花びらみたいにV字にカットして、さくら耳にします。これが不妊手術済みのしるしとなります。

※しるしがないと手術済みの猫がもう一度捕まえられて麻酔や開腹手術を2度される危険があるのです。

➤ さくらねこのいる地域は生きものに優しい素敵なかいわいな地域です。

手術済みのねこは「さくらねこ」と名付けられ地域のシンボルとして共生し、一代限りの命を幸せに終えます。

見知らぬ町でさくらねこを見かけたとき「ああ、この町は生きものに優しい人が住む町なんだ」と幸せな気分になる人が増えています。

➤ さくらねこ誕生秘話

日本では毎年、十数万頭の罪なき猫が行政によって殺処分されています。その80～90%が生まれて間もない仔猫です。こんな状況を無くして猫の殺処分をゼロにするために、ノラ猫の不妊手術が行われるようになりました。

でも同じような顔や模様の猫がいると、手術をしたかどうかが分からなくなり困っていました。

そこで動物愛護の先進国ドイツで、不妊手術済みのしるしとしてみみ先に、人工的カットが行われるようになりました。最初は、見た目がかわいそうだと耳先カットに反対の意見もあり、首輪やピアスが試されました。スグにはずれて無くなってしまい役に立ちません。

結局、みみ先V字カットが一番だということになり、世界中で「みみ先カット」がおこなわれるようになり、環境省も、地域猫に不妊手術と「みみ先カット」を推奨しています。

どうぶつ基金では、「みみ先カット猫」という呼び方を、より覚えやすくてかわいい「さくらねこ」と改名し、さくらねこを全国に広げ、行政による殺処分ゼロを実現します。



「さくらねこは、終わりのある物語です。」

さくらねこがゼロになる日

ローマコロッセオ最後の一匹のさくらねこ ローマは一日にしてならず



最後のさくらねこ

ローマのコロッセオには2500年前から多数(100頭前後?)の野良猫が住み着き問題化していました。ローマには野良になってしまった猫がたくさんいました。

94年、ローマ市は猫に居住権を与え、たとえば、コロッセオで生まれ、住みついた場合には、そこで暮らす権利を持ち、そこから猫や居住場所を移動させるような行為はしてはいけないという法令が出来ました。同年、個人の活動による保護団体が設立。

この団体は、考古学地区 Largo di Torre Argentina(ラルゴ ディ トッレ アルジェンティーナ)広場の遺跡に囲まれて暮らす猫の世話や、食物、医療提供のほか、里親斡旋などの活動を行っています。

ローマでもTNRと耳先カットがおこなわれ、2012年コロッセオを調査に訪れた時には、最後の一匹っていました。このようにさくらねこは終わりのある話なのです。

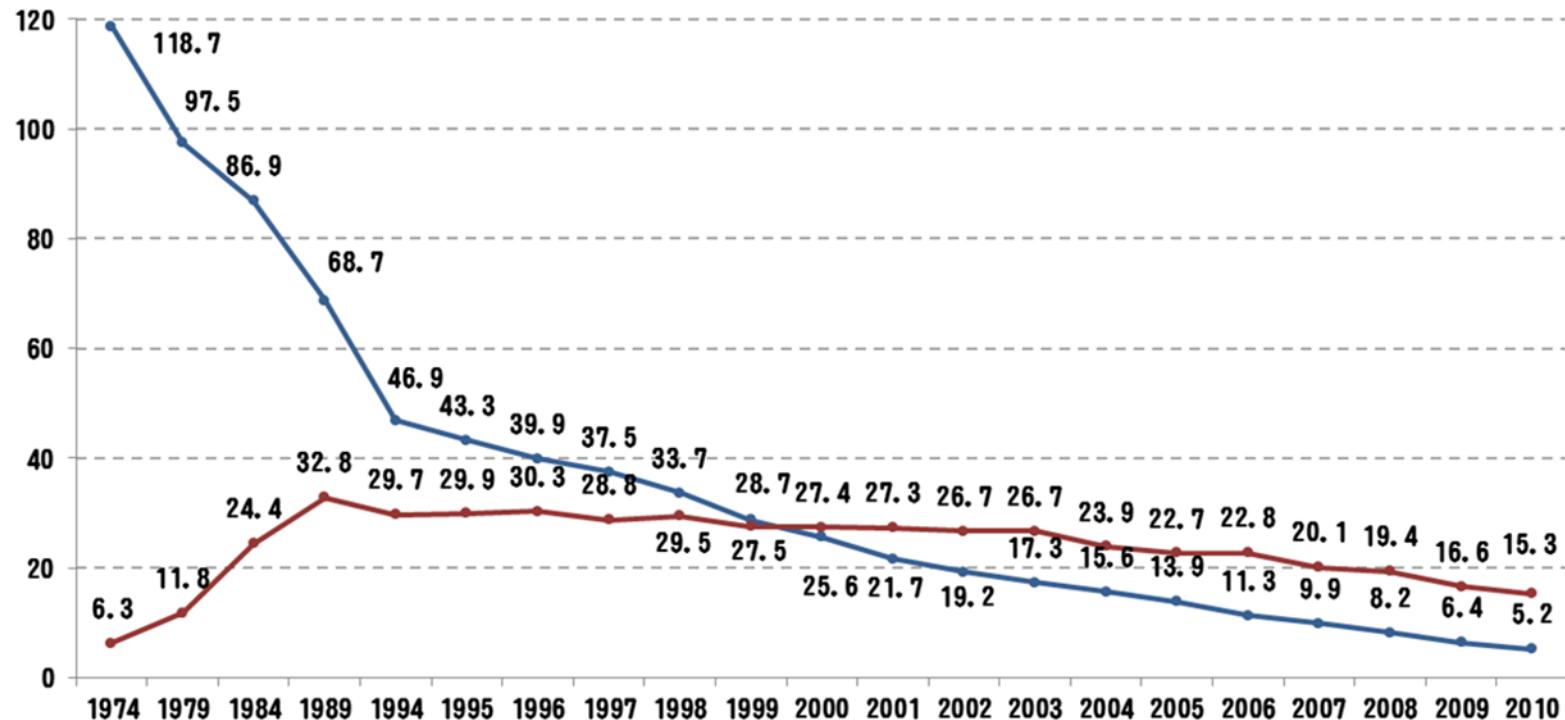
犬と猫の殺処分の現状

犬の殺処分数は大幅に減少しています。

猫の処分数は、あまり変化がありませんでした。

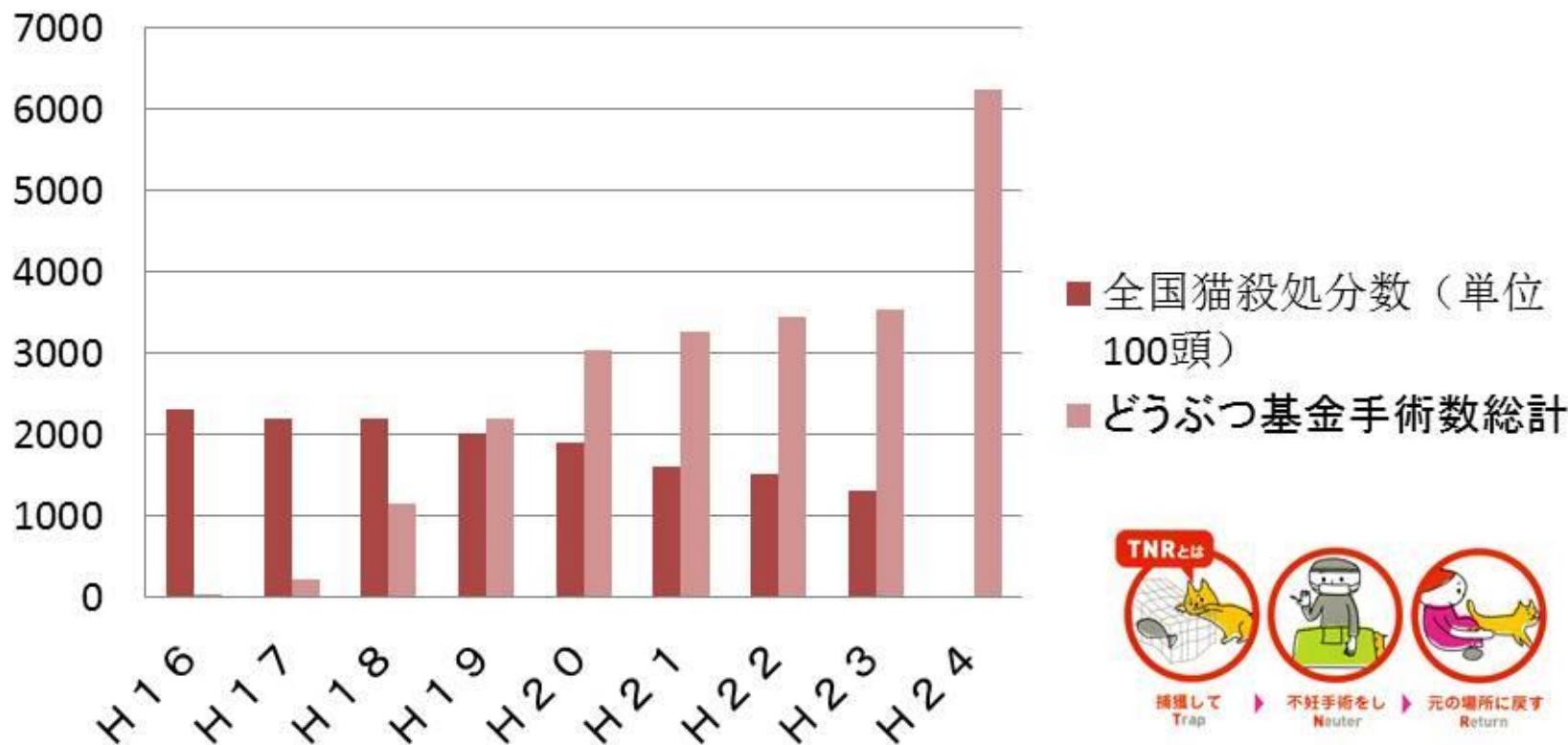
また猫の殺処分のうち子猫は**80~90%**。この子猫はまだ目も開かないような産まれたばかりのものが大多数。

このことは、不妊去勢の周知徹底により、8割以上の殺処分をなくすことができるということを意味します。



どうぶつ基金ではH16年(2004)からH24年(2012)までに6200頭のさくらねこ不妊手術を行い、TNRの啓発を行ってきました。
H16年の殺処分数23万頭からH23年には13万頭まで減少しました。

TNRを行えば殺処分数は大幅減少します。



行政に寄せられる2大苦情

夜中の鳴き声(さかり、喧嘩)と尿の臭いです。

不妊・去勢手術を行えば、

- ・ 夜中のさかり声はなくなります。
- ・ 尿の臭いも激減します。
- ・ 性格が穏やかになり喧嘩がなくなります。
- ・ 猫の数は急に減りませんが、苦情は激減します。
- ・ そのうえ、子猫が増えませんから近い将来、野良猫はいなくなります。(野良猫の平均寿命は約5年)

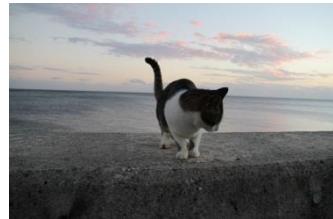


どうぶつ基金の取り組み 不妊手術と啓発事業

- どうぶつ基金では、行政による犬や猫の殺処分ゼロ実現のために不妊手術を推奨しています。
- どうぶつ基金では、無料不妊手術や助成金の給付などの不妊手術啓発事業を中核事業として行ってきました。
- 地域集中不妊手術を行った猫の数は、数千頭および、その結果、神奈川県座間市や愛甲郡清川村などで、行政による猫の引き取り殺処分ゼロを達成してきました。
- TNRによって猫の繁殖を制限するためには、短期間に集中してコロニー猫、ほぼ全てに、不妊手術を施すことが重要です。
- どうぶつ基金が過去に行った例では、飼い主のいない猫のコロニーに対して**短期間で集中的に50頭から200頭の不妊手術を施し**、画期的な成果をあげています。
- 行政、民間、個人ボランティア、自治会の皆様などと一緒にになって殺処分ゼロを実現していくのが、どうぶつ基金の不妊手術啓発事業です。

地域猫活動の現状と問題点

- ・自治会など地域の負担が大きすぎる。(猫のために予算は使いたくない)
- ・すぐに殺してほしいという一部の人間の声が強く反映される。
- ・提案から、じっさいに地域猫活動に取り組むことになるのは全体のわずか10~20%。(合意形成が出来ないため)
- ・自治会の話し合いが1, 2ヶ月に一度程度のため、話し合いをしている間に数が増えて手に負えなくなる。
- ・提案から実行までの審議期間に、ネコの数は数倍に増えてしまう。
- ・結局、予定数よりもねこが増えすぎて、予算も足りず失敗に終わる例が続出中。



TNRを先行する、さくらねこ事業は 地域猫活動を補完します。

- TNRを先行。(地域の負担はゼロ)
- 不妊手術を行うことにより、2大苦情(さかりの鳴き声、糞尿)が解決する。
- 地域負担ゼロと2大苦情が解決することにより、地域の合意が得られやすくなる。
- ねこが増える心配が解決されるので審議に時間をかけることが出来る。
- 万一地域猫活動の合意が得られなくても苦情の多くは解決する。
- 公園や市民会館回りなど、公共の場所(自治会が存在しない場所)でも有効。

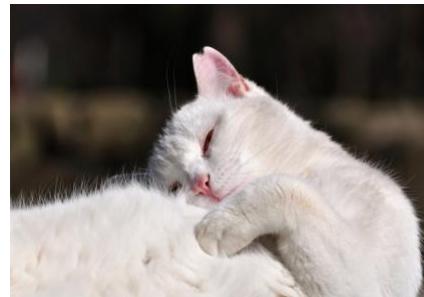
負から正への転換

野良猫→不妊去勢→さくらねこ

- 攻撃的で怖い
- オスの尿の臭いが嫌
- 夜中のさかり声で眠れない
- 公共施設の邪魔者



- おだやかな性格で 人気者になります。
- 臭いは激減します。
- 性衝動がなくなり、鳴き声は激減します。
- 観光資源になります。
- 「まねきねこ」になります。



さくらねこ前線北上計画の構成

- 公益財団法人どうぶつ基金
- またたび獣医師団(出張手術)
- さくらねこ協力病院(廉価で手術を行う)
- さくらねこサポーター(ボランティア、寄付)
- 内閣府、環境省、地方自治体、市町村
- さくらねこ応援団
航空会社、鉄道、観光業、メディア、地域住民、地元獣医など

さくらねこ避妊・去勢手術キャンペーンの ご協力をお願いします。

- ・ ねこ殺処分ゼロの実現には徹底した不妊手術が不可欠です。
- ・ どうぶつ基金ではH16年から**約6200頭**(H24年まで)のさくらねこ不妊・去勢手術、TNRの啓発と広報を行ってきました。その結果、年間殺処分数は23万頭から15万頭まで減りました。
- ・ 各地域での協働開催
- ・ 手術会場(出張手術の場合)の提供
- ・ 運営資金の提供

などのご協力をお願いします。



出張手術会場の必要条件

手術会場:10畳ぐらいの部屋

- 100Vの家庭用電源が必要(照明、バリカン、掃除機)

猫の保管場所:面積:20畳ぐらいの部屋

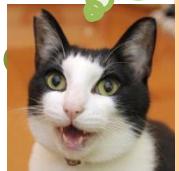
- 手術室と猫保管場所が同じでも可能です。
- 手術器具が洗える水道(トイレ、流し台など)

* 上記条件で獣医2名体制で1日50頭程の手術が可能です。



ヨロシク
にゃん

広報のご協力をお願いします



- ・ 「さくらねこ」のキャラクター化とコンテンツビジネスの展開
さくらねこを全国に広げるためにイベント、キャンペーンなどで使用する「ゆるきやら」の制作を計画しています。
「ゆるきやら」を利用したコンテンツビジネスにご協力ください。
- ・ 写真展パネル展の展示場所提供
どうぶつ基金では啓発のためのパネル展や写真展を行っています。
展示会場を提供してください。
- ・ メディア取材のご紹介
さくらねこの事を紹介していただけるメディアをご紹介ください。

ご寄付のお願い



公益財団法人どうぶつ基金の運営は、基本財産の運用収入と皆様の寄付金で行われています。どうぶつ基金では皆様からお預かりした浄財を、1頭でも多くの動物たちを救うために使わねばならないと考えています。具体的には、動物の不妊手術費用と、写真展などの動物愛護精神の普及啓発に使われています。



ご寄付の振込み先

三井住友銀行 芦屋駅前支店（店番号380）

普通 4172198

公益財団法人どうぶつ基金（コウエキザイダンホウジントウブツキキン）

公益財団法人どうぶつ基金へのご寄付は、税制上の寄付金控除を受けることができます。



さくらねこ・大集合



公益財団法人どうぶつ基金

- ・住所

兵庫県芦屋市奥池南町71-7

- ・TEL 0797-57-1215

- ・FAX 0797-25-2075

- ・HP

[HTTP://WWW.DOUBUTUKIKIN.OR.JP/](http://WWW.DOUBUTUKIKIN.OR.JP/)

- ・いのちつないだ♥ワンニャン写真コンテスト

[HTTP://CONTEST-2012.DOUBUTUKIKIN.OR.JP/](http://CONTEST-2012.DOUBUTUKIKIN.OR.JP/)

- ・活動ブログ

[HTTP://DOUBUTUKIKIN2010.BLOG58.FC2.COM/](http://DOUBUTUKIKIN2010.BLOG58.FC2.COM/)

- ・さくらねこブログ

[HTTP://BLOG.LIVEDOOR.JP/SAKURAMIMI/](http://BLOG.LIVEDOOR.JP/SAKURAMIMI/)

